

⑨ 苗床田植付け

○河口の堰

○苗とり

74 8月、

畑でイグサの苗を掘り起こす  
下永さん夫妻の姿がありました。

75 掘り起こし、

泥を落としているこの苗は、  
1月に植えたものです。

○株分け

76 株分けでは、掘り起こした苗を、

イグサの新芽が残るように  
手で細かく割っていきます。

○植え付け

77 株分けした苗を、今度は水田に  
植え付けます。

78 畑と水田では、イグサの根の  
育ち方が違うそうです。

○話す下永さん

下永さん「畑、水田、畑、水田と変  
えることによってやっぱり枯れ  
るとかそういうのが少なく、こ  
れは昔からのやっぱり、私たち  
が生まれる前、イグサ作ってお  
られた方からの、ずっと引き継  
がれて来ていることで、やっぱ  
りそういう条件で一番イグサの  
苗が育つということではないか  
と思います」

○植え付けの様子

⑩ 本田植え付け

○イグサの苗

79 二月、大きく成長したイグサの苗。

○苗とりロング

80 今度は、この苗を掘り起こして、来年刈り取るための水田に植付けます。

○泥を落とす

81 掘り起こした苗の泥をまです落とします。

○株分け

82 そして、また株分けします。

○植え付け

83 株分けや植付けには熟練の技が必要です。そのため、経験者たちの手を借りて行っています。こうした人たちは次第に少なくなっています。

○植え付け風景

下永さん「畳表はですね、日本にしかない文化ですね。それをどいうわけか私もいまイグサにずっと携わってきているわけで、とにかく日本の昔から風土に合っている畳表ということで、やっぱり何百年と続いているわけで、私たちもなるべくですね、後継

○話す下永さん

者育つような条件にしたいと思っています。みんな団結して精一杯頑張っただうにかこうにか今までつないできたわけですから、これから先もですね、少

しでも長くこの文化を絶やさな  
いように頑張りたいと思ってい  
ます」